

市政に対する一般質問

行財政

まちづくり

教育

健康・福祉

行財政

牛久シャトー（株）の経営状況は

石原 幸雄 議員



(答弁) 黒字化の見込みがない場合は、事業からの撤退も選択肢の一つ

質問 シャトーレストランを利用した市民から、現状の料理のメニューや価格は目線が高いものであり、これらをより大衆向きなものに変更すると共に価格割引制度を導入すれば、リピーターや売り上げが増加するとの声が出ているが、本件をどのように考えているのか。

答弁 (経営企画部長) そのような利用者の声の反映に向けて同社への提案・進言を行う。

質問 長引く不況やコロナ禍により、牛久シャトー(株)の経営状況が厳しく、令和3年度に続き令和4年度も税金から経営安定化補助金が投入されるが、令和4年度末において同社の経営の黒字化が見込めない場合、本市はどのような対応を考えているのか。



牛久シャトー

答弁 黒字化の見込みがない場合は、オエノンホールディングスとの契約の解消を含めて、事業からの撤退も選択肢の一つと考える。

常磐線のダイヤ改正への対応

質問 この度のダイヤ改正により、午前7時台の上り普通列車の本数が8本から6本に、午前8時台のそれが3本から2本に減便されたが、鉄道本数の増減は魅力あるまちづくりや人口増に与える影響が必至であることから、県南の沿線自治体が連絡協議会等を結成し、JRに改正前の本数の維持を働き掛けるべきと考えるがどうか。

答弁 (経営企画部次長) 今後、その旨の要望を続けていく。

健康・福祉

コロナワクチンの高齢者追加接種終了時期は

秋山 泉 議員



(答弁) おおむね3月中に3回目の接種が終了する

質問 高齢者の追加接種では、予約不要の「日時、会場指定方式」となったが、自宅から遠い会場やご夫婦で違う日程を指定され不都合が生じた。指定条件については。

答弁 (保健福祉部次長) 1週間で2万人以上の接種日時で割り付けする作業が必要となったので、最低限の条件での指定となった。

質問 大規模接種会場である牛久運動公園武道館の安全対策については。

答弁 開設まで時間が短かったため、準備で配慮が至らなかった部分もあった。3月の開設は20時までと日没後の時間帯でもあるので、接種会場の外においても改善が必要と認識している。

質問 今後、4回目接種が必要になった場合の取り組みについては。

答弁 市民の皆さまの安全安心を守るため、可能な限り今までの教訓を踏まえ、感染症を最大限に抑えること、迅速かつ安全に予防接種を進めることを目標に事業展開をしていく。

牛久市合同金婚式

質問 合同金婚式の終了については。

答弁 (市民部長) 「広報つくし」に終了のお知らせを掲載したが、その他の事情としては、対象者を年齢などから一律に判断することができず、その把握が困難であるため全員に案内ができないことや、独身の方や死別などにより金婚式まで至らなかつた方との公平性に欠けるといったことがある。



健康・福祉

孤独・孤立に悩む人への支援は

鈴木 勝利 議員



(答弁) 既存の取り組みを活用しながら市の実情に応じた対策に取り組んでいく

質問 本市の支援策は。

答弁 (保健福祉部長) 様々な支援について国や県を含む相談先を市窓口やホームページ、広報等を活用して案内している。また、各種届出・手続きの際や個別通知において、必要なサービスの案内を行っている。相談体制としては、子育て広場や家庭児童相談室障がい者の一般相談、高齢者には地域包括支援センターの電話や訪問等を実施している。

質問 NPO等との連携や支援は。

答弁 子ども食堂や学習支援を行っている団体に、場所の提供や案内設置の支援等を行っている。

教師不足の実態は

質問 学校へ配置する教師の数に欠員が生じる「教師不足」の令和3年度の状況は。

答弁 (教育長) 5月1日時点で小学校2校3人、中学校1校1人。直近では小学校3校6人、中学校2校2人でいずれも増えている。

質問 小学校の学級担任の代替状況は。

答弁 5月1日時点で代替はなかったが、直近では3件で、2件は教務主任が、1件は生徒指導主任が担任業務を兼務している。

質問 教師不足の要因は。

答弁 産休・育休・療休者数の増加、特別支援学級数の増加などがある。しかし、最も大きな要因は、慢性的な講師不足である。



(掲載以外の質問事項) ○書かない窓口システム

市政に対する一般質問

行財政

まちづくり

教育

健康・福祉

教育

運動公園等施設の料金見直しは

諸橋 太一郎 議員



(答弁) コロナ感染拡大が終息した際、一定期間の無料開放を行う予定

茨城県高野連より運動公園野球場に  
関して施設整備の要望書が提出された。今  
後の整備計画は。

有料入場者用の対応とし  
て、施設可能な出入口設置や観客席の拡張  
等の要望が出された。要望に対応できるよ  
う「牛久市スポーツ推進計画」に盛り込ん  
でいく。

女化運動広場のナイター照明の設置  
や人工芝生化への対応は。

天然芝生化は補助金を活用しており、  
整備後20年間の償却期限があるため、令和  
11年度まで天然芝として活用する。ナイター  
照明整備の可能性について検討していく。

牛久運動広場、奥野運動広場のトイ  
シは古く使いづらいつの声を多く寄せられ  
ている。今後の改修計画は。

大規模な改修については市全体とし  
ての考察の中で位置づけを行っていく。

運動公園のプールが閉鎖されて数年  
たつ。今後開放の方針は。

全体を再点検してからでないと開放  
できない状況である。修繕改修には多額の  
費用がかかるため慎重な検討が必要だ。ス  
ポーツ推進計画に今後の市民プールのあり  
方を盛り込んでいく。

ネーミングライツを実施し命名権料  
金を得る自治体が増えているが牛久  
市は。

検討したが  
決定には至ってい  
ない。引き続き検  
討していく。



牛久運動公園野球場

(掲載以外の質問事項)  
○牛久沼の利活用

まち  
づくり

生ごみの堆肥化で環境に優しい循環型社会を

黒木 のぶ子 議員



(答弁) 生ごみは捨てる前の水きり運動と啓発強化また処理容器の利用促進を図る

ごみ処理に年間約10億円必要とされ、  
福祉や教育に回るお金も減額されることか  
ら、ごみの削減対策を講じる必要がある。可  
燃ごみの40%は生ごみなので税金を使って  
生ごみの焼却をするのではなく堆肥化するこ  
とでごみの減量が図れると考える。所見は。

いかに生ごみを減量  
するかがごみ処理経費削減にもなり、食材の  
使いきり、食べ  
きり水きり運動  
の啓発と生ごみ  
処理容器補助制  
度をさらに整え  
ていく。

学校での残菜や企業でのゼロエミッ  
ションの推進と取り組みについての現状は。  
学校給食は献立の工夫で食べ残しが少  
なくおかわりもあり廃棄量も減っている。ま  
た企業や事業所ではマイ箸やマイボトル持参  
など社会的責任で独自ルールで環境問題に取  
り組んでいる。生ごみ排出店舗では土浦市内  
にあるバイオマスプラントでの資源化処理の  
計画もあり今後も発生抑制と資源化を考えて  
いく。



生ごみの減量に効果  
的な生ごみ処理機

教職員の超多忙勤務  
働き方改革の進捗状況

月上限45時間内と決められた超過勤務  
が県教委の調査では小学校40.5%中学校69.  
5%と大幅な超過となっている。牛久市の現  
状と働き方改革の進捗状況は。

牛久市では今後教科担任制  
や、月・木曜日だけを5時間授業とし、減少  
授業数については夏休み日数を2日短縮す  
る。子どもたちと向き合うための時間の確保  
と、持ち帰り仕事の削減につなげていく。

まち  
づくり

ひたち野リフレとエスカードをまちづくりの核に

山本 伸子 議員



(答弁) ポストコロナ時代の行政サービスのあり方を検討していく

令和4年度ひたち野リフレ2階に市役  
所出張所を、5階に教育委員会を集約する予  
算化がされたが、どのような整備か。

2階には現在の出張所  
機能に住民登録や戸籍届出、マイナンバー  
ド業務などを加えたサテライト的な窓口を整  
備し、ひたち野地区の利便性を高める。5階  
には子育て世代も多い地区の特性を考慮し教  
育委員会を集約することとした。

証明書発行などの窓口業務は今まで市  
役所本庁舎とエスカード、奥野、三日月橋の  
3カ所の出張所とひたち野うつくし郵便局で  
行ってきた。しかしマイナンバー制度やコン  
ビニ交付、オンライン申請などが始まり、証  
明書発行業務は今後少なくなっていく。

その代わり地域に近い場所での証明書発行業  
務以外の支所的な機能を持たせた行政サービ  
スが望まれる。ひたち野地区ではリフレに新  
しい行政サービスが整備されるが、牛久地区  
ではエスカードビルにも同じような支所的機  
能を持たせた行政サービスを整備し、駅前の  
活性化につなげる必要があると考えるが。

コロナ禍で業務の1カ所集中による危  
険性などもあり、機能の分散化も検討すべし  
こととなって  
いる。リフレ  
2階のサテラ  
イト的な窓口  
の効果を検証  
しながら、エ  
スカード出張  
所のあり方も  
検討していく。



ひたち野地区の行政サービスを  
担うひたち野リフレ

(掲載以外の質問事項)  
○コロナ禍での事業の検証(中央図書館、  
児童クラブ、ハートフルクーポン券事業)

市政に対する一般質問

行財政

まちづくり

教育

健康・福祉

行財政

移住支援金等の補助制度検討を

伊藤 裕一 議員



(答弁) 茨城県とわくわく茨城生活実現事業を実施

【質問】 本県が転入超過に転じ、土浦市等で移住支援金を支給する事例もあるが、今後移住支援補助を行う考えはあるか。

【答弁】 (経営企画部次長) 茨城県と連携し、国による地方創生交付金事業であるわくわく茨城生活実現事業を実施。市独自の移住支援策の予定はないが、人口の推移を注視し、移住希望者に対し円滑な案内ができるように努める。

【質問】 テレワークの普及に伴い、県内各地でワーキングスペースやシェアオフィスを整備する事例があるが施設整備等のテレワーク支援を行っていく考えは。



【答弁】 サテライトオフィスについて、エスカード牛久ビルの利活用の中で検討し、リーディングした経緯があるが、契約に至らなかった。また、ワーキングスペース設置について同ビルの公共的利活用の検討の中で、テレワークにも対応し得る学習スペースを設置する計画となっている。

常磐線ダイヤ改正について

【質問】 常磐線ダイヤ改正について、市で把握している内容は。

【答弁】 (経営企画部次長) 運転本数の見直し、土浦駅以北の編成車両数見直し等が実施される。

【質問】 今後の要望活動に対する考えは。

【答弁】 対面でJRからの回答が得られる常磐線整備促進期成同盟会の要望活動が効果的と考えており、来年度も牛久市の要望事項を集約して、JRに要望する。

教育

各学校環境の平等性に基づく市民要望にどう応えていくか？

甲斐 徳之助 議員



(答弁) 学校や保護者と協議し合意形成を図りながら対応していく

【質問】 市内小中学校の建物や施設の長寿命化の必要性及び維持管理などの今後の課題は。

【答弁】 (教育部長) ひたち野うしく中を除くと約7割が建設後30年経過している。改築中心から長寿命化へ、事後保全から予防保全へ転換する。整備需要が増大し財政負担の懸念がある。

【質問】 おくの義務教育学校の大規模改修や増設の事業計画の経費と考え方は。

【答弁】 新築の6割以上の費用がかかる。基本設計段階なので、全体経費は見通しできない。

【質問】 南校舎の改修と聞いている。北校舎の活用はどうしていくのか。

【答弁】 検討中。

【質問】 小中学校プール設備の維持管理と今後の考え方は。

【答弁】 維持管理費用が課題。ひたち野うしく小プールへの集約化も検討。



集約化も検討されているひたち野うしく小プール

【質問】 財政面では教育環境に投資的経費、維持補修費で全体の約1割の予算となっているが、維持補修費とは具体的に。

【答弁】 (教育委員会次長) 要望があるものや修繕。

【答弁】 (経営企画部長) 年間約4500万円計上。

【質問】 どの学校でも同じ環境であるべきと考えるか。

【答弁】 (教育部長) 平等に教育を受けられる必要な支援を行っている。

【質問】 「支援する気はある、予算も確保している」との考えのもと、施設整備などのやるべき要望があった場合、対応していくか。

【答弁】 合意形成を図り対応していく。

行財政

稲敷・龍ヶ崎地方3組合の統合に牛久市の対応は

柳井 哲也 議員



(答弁) 稲敷地方広域事務組合と龍ヶ崎地方衛生組合の統合には異論はない

【質問】 稲敷地方広域市町村圏事務組合、龍ヶ崎地方衛生組合、龍ヶ崎地方塵芥処理組合の統合について関係事務局より説明を受けたが、市の考えは。

【答弁】 (経営企画部長) 3組合の統合については、行政の効率化及び効率化を図るため、令和元年7月に衛生組合管理者会議で当時の管理者から統合の決意表明があり、3組合の議会において報告されて以降、3組合職員に構成市町村職員が加わり協議を行ってきた。3組合経営検討委員会はこれまで7回開催され牛久市が加入している稲敷地方広域事務組合と龍ヶ崎地方衛生組合の統合については、基本的に異論はない。

人口が増加する魅力あるまちづくり

【質問】 昨年茨城県は転入が転出を2029人上回った。特に県南の自治体が好調だったが、牛久市は転出超過自治体に入ってしまった。もっと魅力あるまちづくりをしていくべきでは。

【答弁】 (市長) 牛久市への人の流れをつくるために子育てに係る保育、教育分野の推進、新しい人の流れをつくるテレワークへの対応や空家の流通、雇用を生む仕事の創出、ひとが集い安心安全な魅力的な地域づくり、教育、文化、スポーツの発展などに関する取り組みを進めている。また市民は牛久市に愛着を持ち、市外の人には牛久市を知って関わりを持ってもらうよう、その情報や市の魅力を積極的に発信し、住まいを求められる方々に選ばれるまちにしていく。



稲敷地方広域市町村圏事務組合 (消防本部)

市政に対する一般質問

行財政

まちづくり

教育

健康・福祉

行財政

突如予算化？リフレビル整備費の経緯は

須藤 京子 議員



(答弁) 入居者の退去に伴い、利活用検討委員会で検討した結果である

質問 昨年議会の減額修正を受けて以降、エスカード牛久ビルの公共施設整備については何をどう検証、検討したのか。

また、令和4年度予算でおやっと思っただのがひたち野リフレビルの整備費である。新年度予算が内示されて以後の予算化は、かねてより市庁舎の狭あい化が指摘され、議会からはエスカード牛久ビルへの市役所分庁舎開設が提案されていたことを回避するためか。

答弁 (経営企画部長) エスカード牛久ビルの公共的利活用は、議会の特別委員会の提言内容を「待たなければならぬ」状況となった。この間、県や国との協議、エスカード牛久ビルの床交換等の業務を続けてきた。

答弁 (総務部次長) ひたち野リフレビル利活用検討委員会で2階に総合窓口、5階に教育委員会を配置するという結論に至った。

質問 エスカード活性化をどう考えるか。

答弁 (市長) エスカードは駐車場の問題がネックとなっている。

福祉の窓口は市民に寄り添う丁寧な対応を

質問 高齢障がい者の福祉サービスは介護保険が優先され、サービス体系が複雑である。相談に訪れた市民への窓口対応は、障がいのある方に寄り添っていないとの声がある。適切な情報提供を含めた窓口対応をすべきだが。

答弁 (保健福祉部長) 利用できる障がい福祉サービスについて、職員に再度周知し、利用者に寄り添った窓口対応に努める。



まちづくり

「ひたち野リフレビル」のこれからをどう考えるか

加川 裕美 議員



(答弁) 2階に公共窓口や交流の場を、5階には教育委員会を整備したい

質問 令和4年度に予定されているひたち野リフレビルの整備スケジュール・概要は。

答弁 (総務部長) 2階は公共機能を備えた窓口とフリースペースを設置、5階には教育委員会を配置し、他階は現状通りの使用を考える。秋頃の完成を目的に進めていく。

質問 1階の予約本貸出や返却サービスをより充実させることはできないか。

答弁 (教育委員会次長) 現在の状況では、本棚の不足から予約本を迅速に届けることができない。今回を好機と捉え、「リフレ図書カウンター」の課題解決に努めていく。

質問 4階の子育て出張広場を常設には。

答弁 (保健福祉部長) コロナ禍前の平成30年度は年間49日、延べ1612人の利用があった。今後は二・三等を踏まえて検討する。

質問 4階会議室の予約や利用がしにくいとの声には。

答弁 (市民部次長) ホームページをわかりやすく改善する。



ひたち野リフレ

質問 2階に設置されているピアノの活用は。

通学路の危険箇所対策を早急に

質問 教職員の下校時の見守りがなくなることへの対応は。

答弁 (教育長) 学校運営協議会等の動向を見守り、教育委員会として調整していきたい。

答弁 (市長) 有効な手段には取り組みたい。

教育

不登校の子ども・保護者への支援充実を

北島 登 議員



(答弁) フリースクール利用者への経済的支援の制度はない

質問 不登校児童・生徒数の推移、牛久ではどのような状況か。

答弁 (教育長) 不登校児童生徒数は、平成30年度62人、令和元年度79人、令和2年度127人。

質問 学校へ行っていない間、児童・生徒はどのように過ごしているのか。

答弁 民間のフリースクールや通信制高校の中等部に通っている子、そして外に出ずに一日家で過ごしている子どもに分かれる。

質問 牛久において、フリースクールへ通う児童・生徒の状況はどうなっているのか。

答弁 今年度、フリースクールを利用している児童生徒は11人。小学生が3人、中学生は8人。この11人はフリースクールの利用日を、指導要録上出席扱いとして各学校で対応している。

質問 フリースクールの多くは運営費用をどう賄うかに苦労している。保護者の経済的負担も大きい。フリースクール、保護者への経済的支援を行うべきではないか。

答弁 牛久市では、フリースクール利用者への経済的支援に関する制度はない。

校則見直しの状況

質問 昨年の12月議会で校則について質問したが、その後の見直しの状況は。

答弁 (教育長) 市内13校全部で校則の見直しを行ってきた。児童生徒の実情に応じて校則の見直しや改正を進めている。



市政に対する一般質問

行財政

まちづくり

教育

健康・福祉

健康・福祉

重度障がい児の高校卒業後の居場所と支援を

遠藤 憲子 議員



(答弁) 4月に岡見町に重度障がい者対象の日中支援型施設が開設予定

質問 放課後等デイサービス対象は18歳までで高校卒業後の居場所がない。医療的ケア児も含め重度障がい児への支援と計画は。

答弁 (保健福祉部次長) 放課後等デイサービスは、12力所あり市内外で180人が利用。うち重度心身障がい児は2力所で6人が利用。医療的ケア児には看護師等の確保が困難となり事業所が少ない。卒業後は生活介護サービスを市内3事業所が提供する。4月に岡見町内に重度障がい者対象の日中支援型のグループホームが開設予定である。

質問 障がい者施設や在宅の障がい者・児に対する助成政策の現状と計画は。

住宅リフォーム助成制度の創設を

質問 空家対策や定住促進策とも連携した助成制度創設を。

答弁 (市長) 居住者対象の住宅リフォーム助成制度は個人の資産形成につながり、持ち家と借家との差を生じることから考えていない。定住促進では、計画で支援策の必要性は十分認識しており検討していく。



行財政

免許証返納時のかっぱ号2万円のチケット廃止の理由は

利根川 英雄 議員



(答弁) 自主返納が増え、当初目的が達成されたと考える

質問 免許証を返納した市民がかっぱ号2万円の回数券を市から提供されていた制度が前年度から廃止、その理由は。

答弁 (市民部長) 運転免許証の自主返納を目的に2015年8月から21年3月まで実施。15年127件、16年179件、17年151件、18年171件、19年299件、20年275件、と5年8カ月で1202件の自主返納があった。今年度から廃止した理由は、当初の目的が達成された、特典のかっぱ号の利用率が低い、地域による不公平感がある、以上である。

質問 生の声を聞いたのか。検証をどのようにしたのか。何を持って当初の目的を達成したと言えるのか。かっぱ号の乗車券に代わる対策はあるのか。

答弁 (市長) これからの問題と考える。質問 運転免許証自主返納へのサービスを実施していないのは、県南14市で石岡と牛久だけ。明らかに福祉の後退ではない。

アルプス処理水のチラシ

質問 文科省からではない福島第二原発事故処理水、アルプス処理水のチラシを各校に配布したのは、おかしいのではないか。

答弁 (教育長) 各小中学校の1年生に文科省からは、放射線副読本を配布予定との通達があった。チラシの通達はなく、すでに配布した学校と保管している学校がある。

※IAEA 国際原子力機関



アルプス処理水のチラシ

健康・福祉

子どもを取り巻く環境を踏まえた今後の幼児教育の方向性は

藤田 尚美 議員



(答弁) 教育委員会と保育課の一体化について検討していく

質問 教育委員会と保育課の一体化については。

答弁 (教育部長) 一体化については検討中である。国は、子ども家庭庁の令和5年4月発足を決定した。国の動向を踏まえ、一体化に向けて、さらに検討していく。

質問 公立幼稚園の役割は。

答弁 牛久市の幼児教育のモデルとしての役割がある。また、支援を必要とする子どもの幼児教育を受ける最終的な受け皿である。

児童虐待防止

質問 児童虐待の現状は。

答弁 (保健福祉部長) コロナ禍前と比べて過去5年間でみると年々増加している。そのため、気になる家庭には、電話や訪問を増やし、切れ目のない支援に努めている。

不登校の対応

質問 小中学校、義務教育学校の現状は。

答弁 (教育長) 平成30年度62人、令和元年度79人、令和2年度127人である。

質問 不登校児童生徒への学習支援は。

答弁 不登校の実態に合わせてオンライン授業を配信している。

質問 各中学校の居場所としてのルームの利用状況は。

答弁 不登校の児童生徒の居場所としての教室を設置し、子どもたちの相談や学習支援をしている。来年度から、きぼうの広場の職員を派遣して不登校支援を強化していく。



市政に対する一般質問

行財政

まちづくり

教育

健康・福祉

まちづくり

空家になる前の空家等の発生抑制が重要！

長田 麻美 議員



(答弁) 意識づけなど、関連部署と連携して事業を進めていく

質問 ます、空家にならない為の意識啓発が必要であるが見解は。

答弁 (建設部長) 今現在の家屋の処遇、そもそも空家にならないための家の継承に対しての意識づけをしていただくことを、関連部署と連携して事業を進めてまいりたい。

質問 東部地域の既存集落での空家の活用については。

答弁 自然が多く点在する地域特性を生かして、さらに特色のある先進的な学校教育を実践している地域であることから、空家活用が各政策の一翼を担えればと考えている。

質問 今年2月に策定された第2次牛久市市空家等対策計画の主な取り組み内容は。



おくの義務教育一体型校舎

質問 コロナ禍もあり、新校舎計画の説明会が地域住民になされてない。オンライン説明会やYouTubeなどで説明動画の公開なども検討してはどうか。

答弁 (教育委員会次長) 学校運営協議会PTAにはオンラインの説明会。保護者や地域住民へはメールや回覧で案内後動画での説明を公開し、再度ご意見の聴取を行います。

(掲載以外の質問事項) ○試験的なレジ袋型の指定ゴミ袋の作成

まちづくり

空家の入居等に対する補助制度の創設は

池辺 己実夫 議員



(答弁) 支援策の検討に際しては、当市に合致した制度内容を検討していく

質問 今後の牛久地区の活力向上のためには、人口増加策としての空家の入居等に対する補助制度を創設すべきと考えるがどうか。

答弁 (建設部次長) 今後は人口増加策の一環として「空家・空地バンク」への登録物件数を上げることが必須と考えている。「第2次牛久市空家等対策計画」において空家流通をより推進するための活用補助等の支援策の必要性は十分認識しており、重点施策として何らかの形で実施できるよう、改めて支援制度の検討を盛り込んでいる。支援策は、住宅施策や空家対策と併せ、個人資産への公的資金の投入の是非や支援策についても当市に合致した制度内容となるよう検討を進めていきたい。

つくば市との公共交通の広域連携

質問 広域連携の現状と利便性向上のための今後の取り組みは。

答弁 (経営企画部次長) 牛久市では、かつて号のつくば市内ルートに「弁天前」、「宝陽台北」、「宝陽台公民館」の3カ所の停留所を設置しており、つくば市では、つくば南西部シャトルの「田宮町」停留所を、牛久市田宮町地内に設置している。停留所の移設及び新設を行う場合は、既存ルート上の設置であれば、運行上の影響が少ないため、実現の可能性は高いが、既存ルートの変更を伴う内容の場合、所要時間の延長が発生することもあるため、減便等のマイナスの影響が出る可能性がある。



コミュニティバスかつば号

令和3年度議会報告会をYouTubeで配信しています！

例年、議会報告会は、会場を設け市民の皆さまに直接お越しいただいておりましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、牛久市議会では初めてYouTubeでの配信により行うこととなりました。ぜひご覧ください。



YouTube チャンネル名:牛久市議会公式チャンネル  
URL: https://www.youtube.com/channel/UCcwPDaVgXBpkVp1mqvML3lQ  
※本会議中継(録画)も YouTube でご覧いただけます。



- 令和3年度議会報告会
- 1. オープニング・議長挨拶
  - 2. 総務企画常任委員会
  - 3. 教育文化常任委員会
  - 4. 保健福祉常任委員会
  - 5. 環境建設常任委員会



アンケート  
動画をご覧いただき、ぜひご感想やご意見をお聞かせ下さい。  
(令和4年5月31日まで)